

さくら新聞

ユニット紹介

今月は、四丁目四番地を紹介したいと思います。リーダーは、佐藤リーダー。どのようなユニットでしょうか？ いろいろ質問しました。

● 四丁目四番地の特徴を教えてください。

● 佐藤リーダー：皆さんお部屋ではなくリビングで生活することが多く、日中は賑やかな雰囲気です。フロアを歩く方がいたりテレビを観ている方がいたり、各々が自由に過ごして頂いています。今はコロナで外出できませんが、時間が出来たら積極的に外へ散歩に行くことを心がけています。

● ユニットケアの観点から心がけていることはありますか？

● 佐藤リーダー：ユニットケアの考え方の基本である「暮らしの継続」を常に意識しています。施設にご入居頂いた後も自宅で過ごした生活に近づけたいと考えています。その為にもコミュニケーションを大事にして、ご入居者様から気軽に要望を言ってもらえるように心がけています。

● 最近ほほえましく思ったご入居者様の様子を教えてください。

● 佐藤リーダー：「ご入居者様が枕を結んで、「これお米です」「食べてください」と笑顔で持って来たことです。ん〜ほっこりしますね😊



社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2021年
3月1日
第69号

ユニットケアの視点

東かなまち桜園も4月で9年目を迎えます。ひとえに支えてくださったご家族や、桜園で穏やかに過ごして下さっている利用者様のおかげです。コロナ禍ではありますが、無事9年目を迎えられるよう、職員一丸となって頑張りたいと思っています。

最近、リーダーを中心とした介護職員には、初心に戻り「ユニットケアとは」という内容での勉強会をしています。例えば利用者様の一日の暮らしぶりを改めて職員全員で共有するなど、ユニットケアの基本に忠実な施設でありたいと思っています。

(介護主任・山田)

相談員より

四月には三年に一度の介護保険の法改正が施行されます。二〇二二年には、団塊の世代が後期高齢者に突入する年でもあり、支え手不足により、介護保険制度の財源がより圧迫される見通しと言われています。利用者への負担増に加え、社会不安からの引きこもりや孤独化、親子問題からの虐待など、様々な問題を抱えているケースが、地域性にもよりますが、増えているのが実情です。今まで以上に地域の要としての施設の役割や地域包括支援センターとの連携強化などが大切になっていることを実感します。(相談員・三嵩)

先月のご馳走！

え！ 節分が二月二日？と聞き返した人は、私だけではないのではと思います。例年より一日早くなるのは、一二年ぶりだそうです。皆、初めてですね。二〇二五年も、二月二日になるそうです。

豆まきには、「鬼を打ち払う」「豆を投げ与えて恵み、静まってもらう」という二つの意味が込められているそうです。一日も早くコロナを打ち払いたいものです。

(管理栄養士・日下)



機能訓練指導員より

今年も一階に七段飾りのお雛様を出しました。コロナ禍の生活が一年近くになりますが、今まで当たり前にしてきたことの大切さが身に染みています。お雛様を飾り付けて、皆さんに見てもらうことも、とても貴重な事に感じます。こういふ時だからこそ、季節の行事をいつも以上に大切にしたいと思えました。毎年、七段を飾る骨組みの組み立てに悪戦苦闘しているのですが、今回はスムーズに設置することが出来ました。お雛様を飾り、そこがパツと明るくなる瞬間に達成感を感じています。

(機能訓練指導員・伊藤)



スタッフ紹介



今回は、3月から入職した安盛 瑠璃(やすもり) 相談員(やすもり) 相談員を紹介いたします。プライベートは、どのような過ごし方されているのでしょうか？

★趣味は？

最近、家でキャンプ飯を作ったり、パン作りをしています。1月下旬に、金町エリアに引っ越して参りましたので、水元公園でのんびりキャンプできる日を夢見ています。🏕️ キャンプ初心者なので、みなさん教えて下さい。

★身体に良い事していますか？

毎朝、ヨーグルトに、ハチミツ十オリーブオイル十フルーツを入れて食べてます。そのお陰か快腸です😊

★好きな食べ物や飲み物を教えてください。

好きな食べ物は、スパイスカレー。

好きな飲み物は、コーヒー。濃いめのブラックが好きです。毎朝ハンドドリップで入れるのが日課です☕

★最近楽しかった思い出は？

金町の中央図書館へ行ったとき、自動返却機で本が返却されていく様子が見えて、何だか工場見学に来たような気持ちになり、面白かったです(笑)

相談員として、入所者様もご家族様も職員も、笑顔が増えるよう邁進して参ります。宜しくお願い致します。

ケアマネ便り

いよいよ花粉症の季節が来ました。当事者の方々にとっては本当につらい症状と戦っている事ではないかと思われれます。今後も感染症防止対策を始め、ますますマスクが手放せない時期でもあります。引き続き感染防止強化に努めて参ります。(介護支援専門員・滝澤)